

技術・家庭科（技術分野） 第1学年

1 教科、分野を学習するねらい

- ・私たちの生活や社会を支える技術について、技術の見方・考え方を働かせて関心をもつ。
- ・身の回りの製品にある様々な技術の進歩について考え、生活を豊かにする作品づくりに必要な材料及び加工の特徴等を知り、ものづくりの基礎・基本を身に付ける。
- ・情報技術の役割や特性等を理解し、情報モラルの必要性について考え、情報処理に必要な基礎的な入力ができる。

2 教科、分野の学習の仕方

(1)授業では

- ・挨拶や返事をしっかりと行い、意欲的に授業に参加する。
- ・安全第一で作業に取り組む。(話を聞く。服装を整える。メリハリをつける。)
- ・自分の考えた意見を積極的に発表する。
- ・ペア活動やグループ活動で協力し合う。
- ・授業の用意を忘れずに、提出物は必ず提出する。

(2)家庭などでは

- ・自分の生活をみつめ、課題を発見し、自分の生活を工夫し、よりよく生活できるように考える。
- ・生活に密接した教科です。学習したことを可能な限り生活の中で生かす。

3 教科、分野の学習内容

時 期	単元名	学習のねらい・主な学習内容
1学期	ガイダンス 〈材料と加工〉 材料と加工の技術を知る	・技術で学ぶ3年間の見通しをもつ。 ・様々な技術をみつけ、仕組みや工夫について知る。 ・生活の中で技術の果たしている役割に気づく。 ・製作品の機能や構造を考え、構想図にまとめる。
2学期	生活を豊かにする作品をつくる	・加工方法や加工工程を理解し、適切な材料・工具を使用する。 ・面取りや塗装等の仕上げる方法を知り、作品を完成させる。 ・作品の検査方法を知り、修正する。
3学期	作品発表会 〈情報〉 情報について理解を深める	・材料と加工の技術と社会や環境とのかかわりについて考える。 ・他者の作品と比較・検討を行い、より優れた作品を検討する。 ・コンピュータと生活の関わりを知る。 ・安全に情報を利用するために仕組みを知る。(情報モラル) ・タブレットを使い、1年間の学習内容をまとめる。

4 評価について

(1)知識・技能

生活の課題を解決するために必要な知識を身につけている (定期テスト等)

生活の課題を解決するために必要な技能を身につけている (取り組み状況・提出物・作品等)

(2)思考・判断・表現

生活の課題や技術について、自分の考えを持ち、説明することができる。(取り組み状況・提出物等)

生活の課題を解決するために、適切な工夫をすることができる。(取り組み状況・提出物・作品等)

(3)主体的に学習に取り組む態度

意欲を持ち、主体的に授業に取り組んでいる。(取り組み状況・提出物等)